※令和４年度以降入学生用

学校番号	3005

令和５年度　保健体育科

教科	保健体育	科目	体育	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書							
副教材等							

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

集団行動や各種目の中で、自己の能力に応じて基礎基本的な運動技能や体力、筋力を高めましょう。
自他の運動を観察し、分析することで興味や関心を高め、運動の楽しさ、喜び、達成感を一緒に味わいましょう。
体育の授業を通して、「運動をする・見る・支える・調べる」といった関わりを学び、自分にあったスポーツライフを考えてみましょう。

2　学習の到達目標

- 各種目の運動特性に応じた技能等及び社会生活における健康・安全について理解するとともに、技能を身に付けるようにする。
- 運動や健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝える力を養う。
- 生涯にわたって継続して運動に親しむとともに健康の保持増進と体力の向上を目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	運動種目における各技術の名称や技能、体力の高め方、課題解決の方法、練習や発表の仕方、スポーツを行う際の健康・安全の確保の仕方について、具体的な方法を理解している。運動の種目特性に応じて勝敗を競ったり、攻防を展開したり、表現するために各領域の運動特性に応じた段階的な技能を身につける。	知識を活用し、技能向上につなげる。 自己や仲間の課題に応じた運動を継続するための取組みができる。 運動を継続したり、体力や技能の向上に向けた計画を立てることができる。 学習で得た成果を自ら応用、発展させ、実生活に活かせる。	自ら進んで運動の楽しさや喜びを味わおうとする。 健康や安全を確保して学習に主体的に取り組もうとする。 結果や勝敗を受け入れ、自他の技能を客観的に判断できる。 公正、協力、責任、参画などの態度を身につける。

上に示す観点に基づいて学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じてそれぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元（題材）の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
前期	球技　ネット型	ネット型 バレーボール 体つくり運動	a:技術の名称や行い方、体力の高め方について、学習した具体例をあげることができる。運動観察の方法について理解している。 a:　運動を継続する意義、体の構造、運動の原則などを理解している。 b:自己のチームの特徴を踏まえた作戦や戦術を選択する。仲間と積極的に話し合い、互いの技術向上に向けた取り組みをしている。また、健康や安全を確保するために適した活動を実践している。 c:球技に自主的に取り組もうとしている。ルールを守ったプレーを心がけ、自己の責任を果たそうとしている。話し合いに積極的に参加し、互いに助け合い教え合おうとしている。	技能観察	課題レポート 授業態度の観察	授業態度の観察
	水泳（男子・女子）・体育理論	水泳 平泳ぎ 体育理論（水分補給、水泳授業オリエンテーション）	a:技術の高め方、記録測定の仕方、問題解決の方法を理解している。また、課題提出を行い技能の名称や方法の理解度を確認する b:泳法の習得に必要な知識を身につけるための工夫をしている。 c:記録の向上や課題の解決などを通して楽しさや喜びを味わう。水泳の事故防止に関し、健康や安全に留意した取組みを主体的に行っている。	技能観察	課題レポート 授業態度の観察	授業態度の観察

※令和４年度以降入学生用

後期	陸上競技	陸上競技 走り高跳び	a:技術の高め方、記録測定に必要な審判の方法や問題解決の方法を理解している。 b:自己や仲間の課題を見直している。グループ活動する場面では自己や仲間の役割を見つけている。 c:走り高跳びの醍醐味を味わうことができるよう、マナーやルールを大切にしようとする。健康や安全を確保し、自主的に学習に取り組もうとしている。	技能観察	課題レポート 授業態度の観察	授業態度の観察
	球技 ゴール型	ゴール型 ハンドボール	a:技の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法を理解している。 b:生涯にわたって球技を実践するために、運動の取組み方を工夫している。 c:球技の醍醐味を味わうことができるよう、フェアプレイを大切にしようとする。また、積極的に仲間との話し合いに参加している。健康や安全を確保し、自主的に学習に取り組もうとしている。	技能観察	課題レポート 授業態度の観察	授業態度の観察

※令和４年度以降入学生用

	陸上競技・体育理論	陸上競技 長距離走 体育理論（個人の体力に応じた個人のラップ、ペース）	a:長距離走に応じた効率的な走法を身につけている。技術の名称や体力の高め方、運動観察の方法を理解している。ペース配分を分析し、呼吸法を工夫するなど、記録向上に向けた工夫を行っている。 b:生涯にわたり長距離走を実践するために運動の取り組み方を工夫している。 c:長距離走の醍醐味を味わうことができるように、マナーやルールを大切にしようとする。自己責任を果たそうとするなど、健康や安全を確保し、自主的に学習に取り組もうとしている。	技能観察	課題レポート 授業態度の観察	授業態度の観察

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度